



裂織りに打ち込む  
近藤 きみさん (82歳)

こたつ掛けのような大きな  
作品を作ってみたい

何もしないで日々を過ごすのは良くないと、60歳を過ぎてから裂織りを始めた近藤さんに、裂織りに対する思いなどをお聞きしました。

裂織りを始めたきっかけは、23年くらい前、南公民館でたまたま目にした裂織教室のチラシでした。母が亡くなった後だったので、何もしないで日々過ごすのは良くないと思いき分転換のために受講しました。

わたしは高等女学校を卒業後、就職しましたが、仕事が合わなく半年後に退職しました。そのとき母は「家でやることはたくさんあるからもう勤めなくても良い」と言ってくれたので、家事や裁縫など母の手伝いをしました。今思うと裁縫などを身につけた事が、裂織りに取り組む上で役立っていると思います。

写真のこたつ掛けは縦横2mあります。材料は家にあつた布団6枚の生地を使い、完成まで2カ月かかりました。また作品を完成させるまで根気を維持するのが大変で途中で何度も止めたくなくなりました。最後までやり遂げたのは、小

さいときから親に「やり始めたら最後までやりなさい」と言われて育ったせいかも知れません。

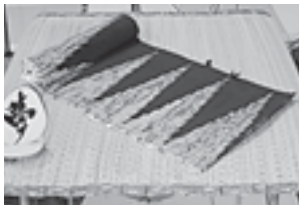
裂織りをやっているのと無心になれるし、出来上がりも楽しみですが、配色や模様など一つ一つ考えながら織る作業は頭と体力を使いますが、完成したときの感激は何物にも変えがたいものがあります。以

前は裂織りのスリッパや手提げバッグなどを作り、道の駅で販売した事もあります。

今はナイロンなどが混ざった生地が多く、材料となる木綿を確保する事が困難になってきましたが、できればまた、こたつ掛けのような大きな作品を作ってみたいと思います。



東公民館ロビーに展示しているこたつ掛け



タペストリー



浴衣用帯

「脳ドック」  
開始のお知らせ

市立中央病院では、専門医師による脳ドックを実施しています。

脳疾患の気になるかたや脳卒中などの家族歴があるかた、認知症が心配だとかたは受診し健康管理に役立ててください。健診は事前に予約が必要です。

健診内容

問診、診察、身体計測、血液検査、尿検査、頭部MRI・MRA、頸部血管超音波検査、四肢血圧脈拍波検査、心電図検査、胸部X線撮影、長谷川式簡易知能評価スケール検査

※検査結果の説明は後日行います。

健診料金 40000円

■脳ドックを受ける事ができないかた

▼ペースメーカーや人工関節など、金属が体内に埋めこまれているかた

▼妊娠されているかた。またその可能性があるかた

▼閉所恐怖症など狭い所が苦手なかた

申し込み先 午前9時から午後4時まで市立中央病院健診センターへ (☎) 5763

